



(昭和23年生)

## 6 度 目 の 年 男

南区・谷山支部 高松 英夫



鹿児島市医報の『新春随筆特集号』に年男・年女の感想・希望を書くようにと案内をいただき、令和2(2020)年は72歳、年男なのだと実感しました。6度目の年男です。還暦は長寿の祝いと年男が一致しますが(但し、今時60歳を長寿として祝うには平均寿命が長くなりました)、それ以降は年男を祝うよりは古希、喜寿、傘寿、等々の長寿祝いが一般的なようです。さて、平成31年3月で大学の理事・副学長の職を離れて、悠々自適といいたいところですが、鹿児島大学医学部医学科同窓会、鶴陵会の会長は続けております。理事・副学長退任を機に会長退任を申し出たところではありますが、もう少し働きなさいということで退任は認めていただけませんでした。従いまして、鹿児島での役員会・評議員会の他、関東、近畿、愛媛、福岡、熊本等の各支部総会などにも出席しています。8年前に瀬戸山史郎先生が急逝された後に急遽後任に選任されましたが、会長・副会長が支部会に出席されるときは慣習などの引き継ぎなく会長の任に就いたため、ある支部会に出席して「尾辻先生は出席されるときは焼酎などのお土産を持参されましたよ。」と親しい先生に指摘されました。それ以来、各支部総会に出席するときは鹿児島大学ブランドの焼酎をお土産に持

参しています。

今しばらくは鶴陵会会長を務めさせていただきます。鹿児島市医師会にも多くの鶴陵会会員があられると思いますが、鶴陵会の運営にご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。特に若い先生方よろしくお願いいたします。毎年8月第4土曜日に鶴陵会役員会・評議員会・総会を開催しています。会議終了後に懇親会も開催しています。総会・懇親会は会員であればどなたでも参加できます。いつの日か県内高校の同窓会のように城山ホテル鹿児島のエメラルドやクリスタルガーデン(錦江の間)が参加者で溢れるような懇親会にしたいと夢見ています。

大学在学中から続けてきたものに合唱活動があります。学生時代は鹿児島大学男声合唱団フロイデコールに所属し、卒業後はフロイデコールOBで組織する楠声会合唱団で週1回練習に参加しています。若いときから老化防止を考えていたわけではありませんが、合唱は頭の体操、顔面表情筋の老化防止、呼吸機能維持、嚥下機能維持、他団員とのコミュニケーションなど老化防止には優れていると言われています。楠声会合唱団では3年に一回定期演奏会を開催していますが、平成30年8月には教育学部卒業で国際的に活躍されている下野竜也氏を客員指揮に招き第10回定期演奏会を宝山ホールで開催しました。それ以外にも県合唱祭、地域の文化活動、小中学校訪問などいろいろな演奏機会があります。楠声会では河村秀敏先生、今村進一先生と一緒に歌う仲間ではありますが、市医師会でも以前に沖野秀一郎先生などが中心になって混声合唱団の活動が行われていました。市医師会合

唱団は既に活動を停止していますが、団名“サザンエコー”の名付け親は河村先生でした。その河村先生が先日亡くなられたのは大変に残念でした。第10回の定期演奏会では厚生連病院の谷口鎌一郎先生も参加されました。フロイデコールのOB名簿を見ると医師会・大学などで活躍されている先生方もおられます。是非また一緒にしたいと考えていますので、小生に声をかけていただければ幸いです。今しばらく元気に過ごし、合唱活動を続けたいと考えております。今後ともよろしく願います。